

外部評価(事業仕分け)結果にかかる市の対応方針

事業番号	10	事務事業名	ごみ袋購入・販売事業	担当課	環境対策課
評価結果	田川市要改善		市の対応方針	改善	
外部評価 (事業仕分け)における 意見、要望 など	<p>【外部評価(事業仕分け)における議論時の意見、要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収集にお金がかかることから持ち込みゴミは全て無料とするといった方法なども全国に例がある ・シールや袋の種類が多い。種類を減らして手間賃を減らす工夫もある。シールの値段は処理料から勘案して決めるべき。 ・販売手数料も見直す必要があると思うが、販売店舗数は適正なのか。住民が買いやすいかということ踏まえて決めるべき。 ・他の町でゴミ袋に「あなたがゴミを1キロ出すと処理にこれだけかかる」と印刷しているところもある。毎日見る袋であれば効果も高い。それとゴミは高いことを示して値段を上げる努力も必要。処理場や収集車等に費用がかかる。それと成果実績もゴミの排出量ではなくて金額で示したほうが分かりやすい ・資源ゴミの無料化でメリハリをつける方法もある ・手数料の6%を改善すべき ・コミュニティーの未来と絡めてどういう考えを持っているか 				
	<p>【評価シート記載コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市外の販売店を増やすなど、市民の利便性を上げる工夫が必要。もう少し市民性悪説ではなく、平成8年以降制度として定着しているのであれば、市民を信頼してもよいのではないか。 ・袋の金額を処理手数料の見合いで再検討すべき、シールの種類を減らすなどコスト削減も考えるべき、販売店の数や場所の見直し、手数料6%を下げる努力、袋を啓発用に活用すべき、その他ごみ処理全体の費用も住民に理解してもらおう努力等、改善する余地多い。 ・資源ゴミの無料化は既に取り組んでいる市町村もある。ステーションや回収ボックスの設置が必要となるが、ゴミの減量化に資するものと思います。 ・新処理センター後は広域でゴミ袋も作成すべき ・在庫6ヵ月分?ジャストインタイムで管理してほしい。金額の設定と入出金の考え方を明確にしてほしい。 ・新ゴミ処理センター完成時における統一ゴミ袋へのシフトチェンジを視野に入れているという事なのでその方向で 				
行政改革 推進本部 決定内容	<p>【事業の手法について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あなたが出したごみ袋1枚あたりのごみ処理経費の金額」を市民に周知することで、ごみ減量化の啓発を強化する。 ・ごみ行政全般に掛かるトータルコスト(収集、焼却、施設建築、不法投棄回収等)を厳密に算出した上で、受益者負担の比率を検討する。 				
	<p>【翌年度予算について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・翌年度の予算には反映しない。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可燃ごみ袋の受益者負担比 (1枚あたり) ごみ袋の料金/ごみ処理経費 = 40円/約150円(担当課試算額) 				